

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 29年 4月 3日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ カメヤマジョウセキホゾンカイ
団体名 亀山城跡保存会
所在地 
連絡先 
フリガナ 
代表者氏名 

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	浮田ふるさと再発見事業
事業実施区域 (小学校区)	亀山城跡 他 (浮田学区)
事業 実 施 内 容	1. 講演会の開催 (添付の写真、チラシ、資料を参照) 宇喜多氏をはじめ西国戦国大名の研究者、宇喜多氏の著書も多い  (歴史学者)を招き「宇喜多氏三代 能家、直家、秀家の生涯をたどる」の演題で講演会を開催した。 講演会の終了後、希望者に亀山城跡の案内を行った。 2. 城跡清掃・管理 (添付の写真を参照) 学区の各町内会、上道中学校及び浮田小学校のボランティア活動の一環として活動を行った。また軍旗の立替えと新規設置を行った。 亀山城跡案内看板の改修設置を行った。 3. 亀山城跡保存会会員の募集 「亀山城跡しおり」を基に、学区内外を問わず広くPRを行い、募集をした。 4. 公民館と連携を取り広く事業を推進する 当初、上道公民館に今年度の区づくり推進事業の内容を報告。 上道公民館、瀬戸公民館に講演会のポスター、チラシ20枚程度を置き、PR及び案内をした。

事業 目 的 と そ の 達 成 状 況 と 効 果	目的：宇喜多直家飛躍の地・秀家生誕の地である亀山城跡をこの地の歴史遺産として、また岡山市指定文化財(史跡)として、継続的に保存し後世に引き継ぎ地域おこしの一躍を担うことを目的とする。また、多くの方々にこの歴史遺産の価値を理解して頂く。 1. 講演会の開催について。 ・講師 ■■■■■、演題「宇喜多氏三代 能家、直家、秀家の生涯をたどる」で行った。講演内容も素晴らしく、参加された方々に満足して頂いたと思う。学区外の方々が多く参加され、参加者は280人程度にもなり超満員で大盛況であった。(内容については、別紙資料を参照) - 講演会終了後の亀山城跡の探索も20人程度参加され、地元歴史家の話を熱心に聞いていた。 3. 亀山城跡の清掃・管理について。 ・中学校のボランティア活動に呼び掛けた結果2班に分けて、30数名の参加があった。浮田学区の各町内会も参加があった。また、終了後、地元歴史家の講話もあり、歴史の勉強にもなり良かった。 4. 亀山城跡保存会の会員募集について。 ・「亀山城跡のしおり」を有効に活用し、目標値を上回る20数名の会員増加となり、全会員数が390人程度となった。 5. 公民館との連携について。 ・講演会について説明し、ポスターを掲示して頂き、またチラシを置かしてもらうことにより、公民館を訪れる多くの方々にPRができた。
企画 な ど の 工 夫 と 情 報 公 開	1. 講演会の開催について。 ・各町内会会長を主としポスターの掲示、チラシ等により広報を行った。 ・地域の小学校、中学校、農協、郵便局、公民館等ポスターを掲示し、チラシを自由に持ち帰れるように20枚程度を各々に置き、広報活動を行った。 ・学区外の保存会会員には、案内状とチラシを送付した。 ・電子町内会のホームページによりポスターを掲示。 ・山陽新聞社に呼び掛け、講演会開催について掲載して頂いた。 - 結果、学区内外を問わず多くの方々の参加があり、この取り組みは良かった。 尚、講演会の状況もホームページで紹介。 ・講演会の終了後、希望者について亀山城跡の探索と説明も行った。 2. 亀山城跡の清掃・管理について。 ・地元町内会、小学校以外にも中学校のボランティア活動にも呼び掛けた。 ・学区の各町内会会長にも呼び掛け多くの参加を願った。 ・清掃後、地元歴史家の亀山城等の講話もあり歴史の勉強にもなった。 尚、清掃活動の状況もホームページで紹介。 3. 保存会会員の募集について。 ・「亀山城跡しおり」を常に携帯し、状況等を説明した。 ・結果、20 数名の会員入会があった。

次 年 度 計 画	1. 亀山城跡と周辺の調査・研究 亀山城跡保存会会員を主とした現場研修 2. 宇喜多直家・秀家にまつわる講演会の開催 3. 城跡の清掃・管理 地元町内会以外に学区全体、学生も含めた清掃活動 4. 老朽化した案内標識及び看板の改修作業 5. 亀山城跡保存会会員の募集 「亀山城跡しおり」を基に岡山市内外を問わず多くの方々を募集。
事 業 実 施 者 と し て の 評 価 ・ 感 想 な ど	1. 亀山城跡と周辺の調査・研究を計画していましたが、先生役、予算等の関係で今年度ではできませんでした。次年度以降に計画実施したいと思います。 2. 各事業内容を確実に実施することにより、各々当初の目標を上回る結果となった。 3. 講演会については、戦国大名字喜多氏三代の生涯についての講演で、講師の影響もあり280名程度の参加者で大盛況であった。参加者には満足して頂いた講演であったと思います。宇喜多直家飛躍地、秀家誕生の地である、亀山城跡に一層興味を持ってもらえたと思います。 4. 最近は亀山城跡を訪問される人も多く、城跡の清掃・管理を継続し実施していきたいと思っています。 5. 少額な予算で、各団体及び保存会メンバーの協力を得、事業を遂行することができ大変良かったと思います。

■事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
浮田学区連合町内会	清掃活動、講演会の実施、PR
岡山市立上道中学校	清掃活動
岡山市立浮田小学校	清掃活動、講演会の援助
上道公民館、瀬戸公民館	講演会等のPR活動
浮田学区電子町内会	清掃活動、講演会等の情報公開
宇喜多家菩提寺光珍寺	講演会等PR
山陽新聞社	講演会の掲示PR
岡山市区づくり推進事業	講演会の後援

収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	241, 500	241, 500	
実施団体負担金	136, 200	138, 402	亀山城跡保存会
浮田学区連合町内会負担金	105, 400	105, 400	
計	4 8 3, 100	485, 302	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	120, 000	142, 054	(別紙添付資料を参照)
食糧費	11, 500	12, 145	//
印刷製本費	70, 000	58, 000	//
通信運搬費	11, 600	11, 760	//
原材料費	100, 000	110, 983	//
委託料	20, 000	0	//
報償費	100, 000	100, 000	//
交通費	50, 000	50, 360	//
計	483, 100	485, 302	

■事業実施経過

年 月 日	内 容
28 年 9 月 5 日	・浮田小学校の亀山城跡清掃活動。保存会メンバーも参加。
28 年 9 月 14 日	・亀山城跡清掃について、上道中学校とボランティア活動の一環としての打ち合せ。
28 年 9 月 20 日	・亀山城跡保存会運営委員会を開催し、区づくり推進事業について打ち合せ。
28 年 10 月 25 日	・歴史講演会の演題について講師の[REDACTED]とメールで打ち合せ。「宇喜多氏三代 能家・直家・秀家の生涯をたどる」に決定。
28 年 11 月 4 日	・亀山城跡案内看板の改修工事について関係者と打ち合せ。
28 年 11 月 17 日	・案内看板の材料発注。
28 年 11 月 20 日	・上道中学のボランティア活動による亀山城跡の清掃、1 回目。浮田学区町内会、保存会メンバーも参加。
28 年 11 月 20 日	・清掃後、保存会メンバーで軍旗の立替えと新設設置作業。
28 年 12 月 5 日	・浮田小学校 6 年生の奉仕作業として亀山城跡清掃活動。保存会メンバーも参加。
28 年 12 月 18 日	・上道中学のボランティア活動による亀山城跡の清掃、2 回目。浮田学区町内会、保存会メンバーも参加。
29 年 1 月 6 日	・「郷土の歴史講演会」のチラシ、ポスターの印刷開始。
29 年 1 月 14 日	・チラシ、ポスター、案内状を配布。
29 年 1 月 14 日	・亀山城跡案内看板の発注材料の完成確認、改修工事の打ち合せ。
29 年 2 月 4 日	・案内看板の改修作業。保存会メンバー10 数名で。
29 年 2 月 25 日	・保存会運営委員会を開催し、翌日の講演会の打ち合せとメンバーを含めての準備。
29 年 2 月 26 日	・郷土の歴史講演会 ・講演会終了後片づけと反省会。